



エミールだより

第487号
2016年5月1日 発行

5月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

「自発性は情緒の安定から」

桜が散ったらつつじに藤と、春の気分は満開ですね。それに続けとけやきの枝も緑でいっぱいになり、また子どもたちのために大きな日かげを作ってくれそうです。

少しばかり泣き声が聞こえた新入園児も、少しずつ園になじんできたようで、園庭でも元気な声が出はじめました。丹念に準備された環境は、必ず子どもの心をとらえてくれるはずで、こいのぼりに負けずにグイグイと登っていく姿を、目を細めながらながめていきましょう。

ところで、よく私たちは「ガンバレー」という声かけをしますが、幼い子どもたちには不要なことばです。なぜなら、どの子も生まれつき強力な自発性を持っており、いつでもどこでも「やる気満々」の姿を見せようとしています。ただ残念ながら、時にはこの姿がかすんだり見えなくなったりしますが、最大の原因は情緒の不安定からくる「のりの悪さ」にあります。「のりが悪くなる」ケースを、いくつか挙げてみましょう。

① まず、次々とやってくる敏感期に、これを満足させてくれる環境が準備されていないことです。成長のプロセスとしてプログラミングされているものに入れられないので、子どもの不満はどんどん大きくなり、時には自分の人間性が否定されているのではないかと感じるようになります。

② 次に、自分の活動のテンポやリズムが、周囲の配慮のなさや干渉しすぎによってうまく作れない時です。テンポやリズムは、ひとりひとりちがいががあるので、それを尊重しなければなりません。私たちが子どもの自発的意思を認め、自由な活動を保障しているのは、まさにこのためにあります。

③ 子どもには直接関係がなくても、周囲の人間の行動や態度が悪い影響を与えることがあります。子どもはまだ生まれて間がなく、そんなに強い精神力を持っているわけではありません。「もろい」といってもいいくらいです。だからちょっとしたこと傷つき、情緒不安定になります。

私たちおとなは、細心の注意と配慮で子どもの自発性を守ってあげましょう。自分からすすんでやれば、脳の発達も早くなります。考える力もつき、計画する力や解決する力もついてきます。何より一番幸せで満足した気持ちになりますので、バランスのとれた立派な人格が形づくられます。私たちは、ただ暖かく見守ってやるだけでいいのです。子どもがいくつになっても、その成長を楽しむことができますよ。 (園長より)

個人懇談を行います

お子さんの園での様子や個人的なご相談など担任と話し信頼関係を深める良い機会になればと思い5・6・7月にわたって個人懇談を行います。

5月は9日～16日に、0歳児・3歳児の個人懇談をいたします。

6月に1歳児と4歳児、7月には、2歳児と5歳児の個人懇談を予定しています。

詳細については、前月にお知らせします。5月の対象者は4/26に配布しています。

5月の行事予定

1	日	
2	月	
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	個人懇談0.3歳 第1回父母の会役員会
10	火	
11	水	
12	木	お弁当の日
13	金	父母の会総会
14	土	
15	日	
16	月	個人懇談
17	火	避難消火訓練
18	水	
19	木	ふわふわルーム ペアレンツくらす
20	金	
21	土	公開保育
22	日	
23	月	誕生会
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	第2回父母の会役員
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	体育教室 5歳児 2・9・16・23・30日 月曜日
		絵画教室 4・5歳児 19日 木曜日